



12/21

主な内容

3面 ■ 火災に注意して下さい / 4面 ■ 27年度自転車置場の利用登録を受け付けます / 5面 ■ 人事行政の運営状況 / 8面 ■ 新春の催し

発行 ■ 荒川区 ☎(3802)3111 〒116-8501 東京都荒川区荒川2-2-3 / 毎月1日・11日・21日 / 80000部発行

地球温暖化が進んだ場合、海面上昇による海岸浸食や、台風の巨大化・進路変化が起こると言われています。日本は、特に沿岸域に人口・産業が集中しており、このような地域は、温暖化に対する脆弱性が高いと言えます。



2100年までに地球の平均気温が3～4度上昇する場合、日本では気候帯が4～5km/年のスピードで北上するという報告があります。



ブナ林や亜高山帯・亜寒帯の針葉樹林の分布適地が減少します。



温暖化により、強い熱帯低気圧は今後も増加することが予測されており、その結果、激しい風雨により沿岸域での被害が増加する可能性があります。



猛暑日や熱帯夜が大幅に増えます。熱波により、熱中症患者が増加し、デング熱や日本脳炎が発生する可能性が高まります。



沿岸域では海面上昇に高潮が重なることによる被害拡大、海面上昇による海岸浸食や砂浜の消失等が予想されます。

出展：全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト (<http://www.jccca.org/>) より

国連気候変動に関する政府間パネル(IPCC)は、「第5次評価報告書」の統合報告書において、このまま地球温暖化が進むと21世紀末

には地球の平均気温が最大で約4・8度上昇すると予測しています。具体的な事象として、日本では次のようなことが挙げられます。

温暖化が進むとどうなるの？



地球温暖化は、二酸化炭素が大部分を占める「温室効果ガス」の排出により進行します。このため日本の産業界では、徹底した省エネやエネルギー転換などにより二酸化炭素の削減が進められています。地球温暖化を防止するためには、一人ひとりが家庭での生活を見直して、行動することも大切です。未来社会の守護者である子どもたちを始め、もっと先の世代まで、安心して暮らせる地球を守るために、小さな行動から始めましょう。

問合せ 環境課 ☎内線482

12月は地球温暖化防止月間 小さな行動が地球を守る

家庭で出来る行動は？

物を買うときには必ず、必要かどうかを考えることが大切です。

不要なものは買わない事が原則ですが、購入するときは、エコマーク認定品など出来るだけ環境に優しい物を選びましょう。

消費

住まい

冷・暖房による二酸化炭素排出量は、一世帯あたりの家庭からの総排出量の約15.6%に相当します(2012年)。窓の複層ガラス化や、厚手のカーテンの活用等で断熱が高まり、省エネ効果も上がります。

家庭からの二酸化炭素の排出は、照明・家電製品など電気を使うところが一番多く、次に自動車、給湯、暖房の順で多くなっています。

身の回りの小さなことから、省エネを心掛けましょう。

省エネ

車

自動車の燃費は良くなっていますが、保有台数や交通量の増加により、エネルギー消費量が多くなっています。自動車を運転する場合は、アイドリングストップやエコドライブを心掛けましょう。

この冬、すぐ出来る省エネ



冷蔵庫

▷冷蔵庫に食品等を詰め込み過ぎない
▷設定温度を「弱」にする



風呂、給湯器

▷間隔を空けずに入浴する
▷シャワーを不必要に流したままにしない

温水洗浄便座

▷使わない時はフタを閉める
▷便座の暖房温度は低めに設定する

洗濯機

▷洗濯物はまとめて洗い、洗濯容量 80%程度の量を目安に運転する



リビング(居間)

▷室温は20度を目安にして普段の服装にもう1枚プラスして暖かく過ごす
▷テレビを見ない時は消す

照明

▷不要な照明を消す
▷照明を交換する時は、LEDに交換する

台所

▷お湯は必要な時、必要な分だけ沸かす(長時間保温しない)
▷コンロの炎を、なべ底からはみ出さないようにする
▷煮物は落としづたを利用する



区の取り組み

ウォームビズ

区では今冬も、事務室や会議室の暖房の温度を19度を目安にして、職員はウォームビズ(暖かい服装での勤務)を実施しています。区民の皆さんの利用に支障のない範囲で省エネ・節電を実施します。

あらかわ街なかほっとサロン

53カ所の区の施設で「街なかほっとサロン」を開設しています。自宅の暖房を止めて、サロンで心



今夏の元祖・本家「街なか避暑地」の利用結果

7月～9月に53施設で開設した街なか避暑地では、期間中に約68万人の方が施設を利用しました。街なかほっとサロンでも、お待ちしております。



▲▶今夏の様子

(仮称)荒川二丁目複合施設の愛称を選んで下さい

区では、図書館・吉村昭記念文学館・子ども施設が一体となった(仮称)荒川二丁目複合施設の整備を進めています。10月に施設の愛称を募集し、419点の応募がありました。応募作品の中から、候補作として次の5点を選びました。未永く愛され、親しまれる愛称となるよう、区民投票を実施します。

対象 区内在住・在勤・在学の方
***投票は、一人1回**
投票方法 区役所1階総合相談、がん予防・健康づくりセンター、各区民事務所・図書館・ふれあい館、荒川総合スポーツセンター等に設置してある、投票用紙に記入し投票箱に投函して下さい

期間 27年1月21日(水)まで

問合せ 複合施設準備室 ☎内線2256

愛称	説明
1 あらかわ言葉の葉館	図書館や文学館の「言葉(ことのは)」の豊かさが、夢を叶えるようイメージしました。
2 ゆいの森	ゆい=結ぶ。本と人、人と人が結ばれて、楽しく心が安らぐ場所になるようイメージしました。
3 荒川にこっと	みんなが「にこっと」するような施設と、荒川二丁目であることをイメージしました。
4 あらかわパレット	絵具のパレットのように、色々な文化や交流が生まれ、発信されることをイメージしました。
5 あらとぴあ Ara-topia	荒川区のユートピア(理想とする場所)となるようイメージしました。